

大谷第四自治会会報

平成 27 年 3 月 発行

第 333 号【26 年度第 11 号】

3月7日（土）18時から自治会館にて第11回役員会が開催されました。
主な決定事項および連絡事項をお知らせ致します。

* 外部会議等参加状況について

- ① 七里総合公園最終処分場対策連絡協議会 役員会（2月11日、3月4日）会長出席
総会（3月14日（土））の準備
- ② 防災リーダー研修会 2月28日（土） 市民会館 会長出席
さいたま市防災組織連絡協議会主催の講演：「自然災害の現状と気象情報の活用について」

* 見沼区広報紙展について

見沼区自治会連合会主催の見沼区広報紙展が次の通り開催されます。

- ・期間：3月16日（月）～ 4月3日（金）の平日
- ・場所：見沼区役所 1階ロビー

当自治会は、連合会の開催趣旨（自治会活動のPR）に賛同し、かつ当自治会の広報業務の研鑽を目指して、自治会報（12月号）を出展しました。



ご関心のある方、又は区役所に行く機会がある方は是非ご覧くださいますようご案内いたします。

* 「安全な暮らし・安心な地域づくり」について

地域の安全と安心に関するにつきましては、主として警察、防犯協会、社会福祉協議会等からのチラシを皆様に回覧しておりますが、今回は次の事項につきまして強調いたします。

- ① 見沼区は、さいたま市の中でも犯罪件数が多い方でそれなりの心構えが必要です。特に注目すべきは振り込め詐欺で昨年の見沼区内の被害額は約1億500万円（31件）になります。これからも分かるように振り込め詐欺は結構身近にその事例が多いことなのです。



その他、自転車盗、空巣狙い、車上狙い等が多いので、自転車には必ずキーをかけ外に置かないこと、車は必ずドアロックすること、外出する時は家の戸締りチェックを厳重にし、門扉を閉めるようにしましょう。

② 当団地では、高齢者が多いので特に高齢者の交通事故(被害者、加害者共に多い)に注意しましょう。加齢と併に、認知能力、適応判断能力、反応能力は年々確実に低下してきます、それ故、自分自身の能力の変化を自覚することが大切です。昔出来た事が現在出来るとは限りません、独りよがりな自信過剰にならぬよう緊張感を持ち、細心の注意を払いましょう。

また、自分自身運転に自信がなくなったと自覚した時とか、家族から「運転が心配」と言わされたら、運転免許の自主返納を考える事も必要でしょう。

③ 住民コミュニティとして、今後益々介護や見守り活動などが重視されてきます。

これら諸問題に日頃直接対応されているのが民生委員の方です。そこで当自治会担当民生委員の秋山孝子様に所見をお伺いしました。

「当自治会も高齢化が進みつつあり、今後、健康・介護・日常的な支援等、様々な問題が予測されます。幸い当自治会は全体としてまとまりがあり、悠遊クラブの活動も活発であり、住民どうしのコミュニケーションが比較的おこなわれている地域ではないかと思っています。この特性を生かして、日頃から親しくしている方やご近所の方とのコミュニケーションを更に密にしていただくと共に、その方々に変化が見られた時には、自治会長や民生委員に連絡していただければありがとうございます。ご相談の上、必要に応じて一歩踏み込んだ対応をさせていただければと思います。(秋山記)」

ちなみに、民生委員の業務は、担当の区域で高齢者などの見守りや子どもたちへの声かけなどを行います。また、医療・介護・子育て・生活上の心配事など、様々な相談に応じ、必要な支援が受けられるよう関係機関への橋渡しを行います。

会員の皆様には民生委員の業務をご理解いただき、支援が必要と思われる場合は、遠慮なく当自治会担当民生委員の秋山孝子様（Tel：685-7611）に連絡しましょう。

* 自治会費集金のお願いについて

自治会費（4月～6月分）900円を集金させていただきます。各班の当番の方は集金集金をしていただき、4月5日(日)午前中に会計役員 松岡(11班)までお届け下さい。

